

カールスト・デ・ヨング先生 即興演奏公開レッスン報告書

日時 2019年9月24 日と26日

場所 L-506

今年度もアムステルダム音楽院、ハーグ王立音楽院、スペイン・カタルーニャ高等音楽大学他で教鞭を執っていらっしゃるカールスト・デ・ヨング先生をお迎えして、即興演奏公開レッスンをして頂きました。毎年来てくださっていることもあり、前年度も受講した学生が複数名いらっしゃいました。即興演奏も演奏や作曲同様、継続した学習が必要ながよくわかります。



即興演奏に慣れている方も、そうでない方も、どのような音楽スタイルでも、どんな楽器でも、受け入れてくださるカールスト先生のお力と、そして即興演奏自体の面白さと奥深さを体験できる貴重な機会となりました。

以下、受講生の声をお読みください。生き活きとした感想から、それがよく伝わってくると思います。

♪ 調性が発展できなくなったら、無調に進む、メロディーがワンパターンという癖の解決策、楽しい練習方法を教えていただき、即興の上達への方向が見えました！

♪ 即興は好きではあったものの、する場所が少なく、この機会に即興をすることができ、とても楽しかったです。また、今までよりクラシックの曲を広い目で見られるような気がします。

フルートパートをピアノが、ピアノ伴奏をフルートがしてみたり、楽譜通りではない演奏をすることで自由に音楽をすることができました。

英語が話せず、先生の言葉を直接受け取ることができなかったもので、これを機にもう一度しっかりと英語も勉強したいなとも思いました。

とても楽しかったです。ありがとうございました😊



♪ レッスンを終えて、、、頭が痛いです。これは、私にとってとてもポジティブな意味です。即興において昨年あまり進歩のない自分でしたが、先生の素晴らしいレッスンに終始脳が刺激され続けた1時間でした。即興ビギナーの自分は何がなんでも、まずはスケールとアルペジオをマスターしなければならない、したい！という思いが強くなりました。具体的には同じ調性のI-V進行で、スケールやアルペジオを織り交ぜて練習をすることを教えていただきました。ただ単に登って降ってだけではなく、その間の音をどのように工夫するか、どのようなアイデアで展開していくかなどが私にとっての課題であり、まずはここから始めようと思います。また、同じスケールとアルペジオを使った練習で、違う調へ移っていく5度進行のやり方も興味深かったです。スムーズに、確実に、アイデアを絞り出して練習していこうと思います。最後に、カールスト先生のとても素晴らしいお人柄と音楽性に触れることができて幸せに思います。素晴らしい刺激と体験を本当にありがとうございました。大類先生にも大変感謝致します。私にこのような機会をくださりどうもありがとうございました。



♪ 一拍の速さを変えないで拍子を転換することは難しかったですが、1拍子から5拍子までそれぞれ言葉を決めて声に出してみることでできるようになりました。バルトークの変拍子の曲で他の曲にも当てはめられて面白いです。

♪ カールスト先生のレッスンの中で、インベンションとファウンドのことを説明してくださったのが一番印象に残っており、即興と作曲の違いを明確に知ることができました。カールスト先生とのフリーの即興演奏ではどこへ行くか分からないワクワクと合った時の喜びがあり非常に楽しかったです。また、先生が弾いていっやるのを聴いて、調性を感じて演奏するということはとても大切なことだと改めて実感しました。即興だけでなく、音楽に関する様々なことを勉強できました。

(文責：大類朋美)

